

IP アドレス

123.45.61.23 などの数値アドレスで LAN または WAN にあるプリンターやサーバーを識別します。

サブネット・マスク

IP ネットワークを小さなサブネットワークやサブネットに分割するときに使用するバイナリー値です。IP パケットをほかのサブネットに転送する必要があるかどうかを判断するときにこのマスクを使用します。

ゲートウェイ・アドレス

ゲートウェイ・アドレスは、ハードウェア装置 (ゲートウェイ) の IP アドレスです。互換性のある 2 つのネットワークのあいだで、プロトコルの変換など、データを変換します。

MAC アドレス

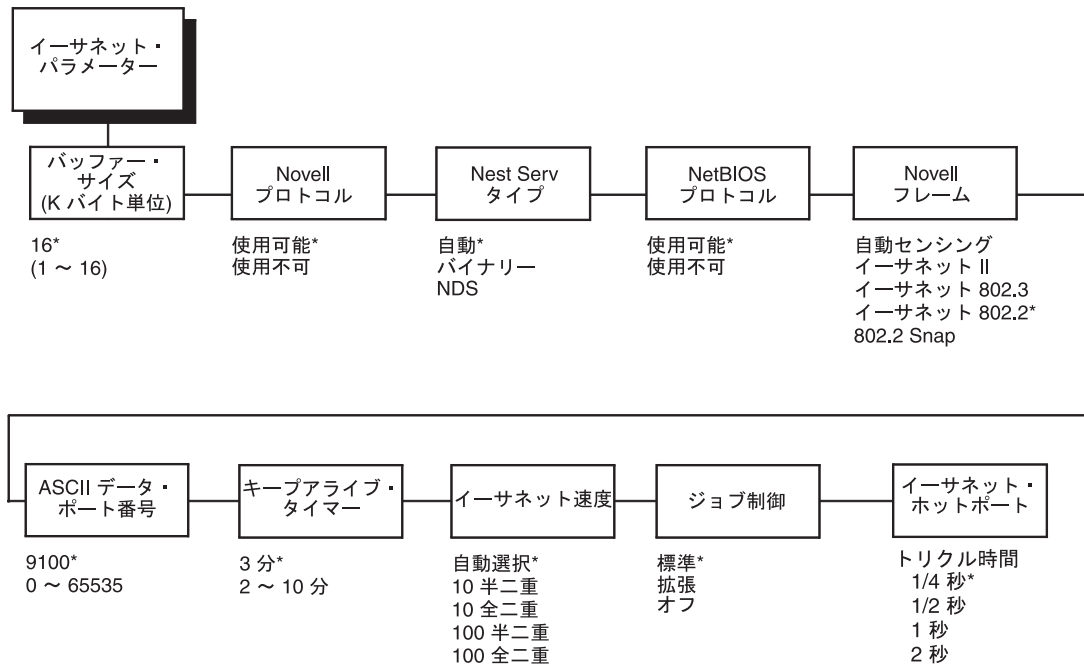
このメニュー項目は、メーカーの割り当て番号でプリンターごとに固有の数値があります。読み取り専用のメニューです。

DHCP

このオプションを使用して DHCP プロトコルを使用可能または使用不可にできますが、設定については管理者にお問い合わせください。オプションには次のものがあります。

- Disable (デフォルト)
- Enable

イーサネット・パラメーター・メニュー



オプションを表示するときに押します:

Scroll ↑ Scroll ↓ Enter Return

Enter

オプションを選択するときに押します:

構成メニューを終了し、READY に戻るときに押します:

Start

* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG090

イーサネット IP アドレス、ゲートウェイ・アドレス、サブセット・マスク、および MAC アドレス機能に関する詳しい情報は、「Ethernet Interface User's Manual」に記載されています。パラメーターへのアクセスは、オペレーター・パネルを介して行います。

バッファ・サイズ (K バイト)

このパラメーターは、入力バッファのサイズを 1K の増分で決定します。最大 16K までの選択項目が示されています。16K のデフォルトは強制された選択です。

Novell プロトコル

このオプションは、Novell プロトコルが使用可能かどうか決定します。選択肢は、下記のとおりです。

- 使用可能 (デフォルト) は、イーサネットが取り付けられた状態で Novell プロトコルを使用可能にします。
- 使用不可は、プリンターの作動中に Novell プロトコルを使用不能にします。

Nest Serv タイプ

このオプションを使用して Nest Server を変更できますが、設定値については管理者にお問い合わせください。

オプションには、「Binary」(工場出荷デフォルト値)、「NDS」、「Auto」があります。

NetBIOS プロトコル

このオプションは、NetBIOS プロトコルが使用可能かどうか決定します。選択肢は、下記のとおりです。

- Enable (デフォルト) は、イーサネットが取り付けられた状態で NetBIOS プロトコルを使用可能にします。
- Disable は、プリンターの作動中に NetBIOS プロトコルを使用不能にします。

Novell フレーム

この選択肢は、Novell 信号を処理する際にどのフレーム方式が使用されるか決定します。

- Auto Sensing (自動センシング)
- Ethernet (イーサネット II)
- Ethernet 802.3 (イーサネット 802.3)
- Ethernet 802.2 (イーサネット 802.2) (デフォルト)
- 802.2 Snap

ASCII データ・ポート番号

このオプションは、ASCII 印刷ジョブのポート番号を設定します。データ・ポート番号は、ホスト・システムの設定値と一致する必要があります。

範囲は 0 ~ 65535、工場出荷デフォルト値は 9100 です。

キープアライブ・タイマー

キープアライブ・タイマーを実行する時間です。キープアライブ・タイマーをオンにしておくと、印刷ジョブを終了した後も TCP 接続は維持されます。

範囲は 2 ~ 10 分、工場出荷デフォルト値は 3 分です。

イーサネット速度

このメニュー・オプションは、10/100Base-T ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) が取り付けられている場合のみ表示されます。Ethernet Speed メニューにより、異種のシステムやネットワークとのあいだに互換性を得ることができます。工場出荷デフォルト値は「Auto Select」です。

- **Auto Select.** この設定をすると、10/100Base-T NIC が自動検出方式を実行して、10 Half Duplex (半二重)、10 Full Duplex (全二重)、100 Half Duplex (半二重)、または 100 Full Duplex (全二重) のいずれかに自動的に構成します。

- **10 Half Duplex**。この設定は、100 Base-T NIC に半二重を使って 10 Mb/s で通信するよう指示します。
- **10 Full Duplex**。この設定は、100 Base-T NIC に全二重を使って 10 Mb/s で通信するよう指示します。
- **100 Half Duplex**。この設定は、100 Base-T NIC に半二重を使って 100 Mb/s で通信するよう指示します。
- **100 Full Duplex**。この設定は、100 Base-T NIC に全二重を使って 100 Mb/s で通信するよう指示します。

ジョブ制御

ジョブ制御モードには 3 つのオプションがあります。

- **Standard**。NIC は、プリンターが現行ジョブの受け取りを完了してから、次のジョブを送ります。NIC がジョブの受け取りを完了すると、状況表示行には「done」と表示されます。デフォルトでは、このオプションが選択されています。
- **Enhanced**。NIC は、プリンターが現行ジョブの受け取りを完了してから、次のジョブを送ります。ジョブの印刷が完了すると、状況表示行には「done」と表示されます。
- **Off**。NIC とプリンターのあいだで、ジョブの同期は行われません。

イーサネット・ホットポート

プリンターに、複数のデータ・ストリームを同時に扱う能力を与えます。これにより、プリンターは、シリアル、イーサネット、および同軸または平衡型のいずれかのポートに接続されたホストに、それらのポートが接続されている唯一のインターフェースであるかのようにサービスすることができます。

トリクル時間

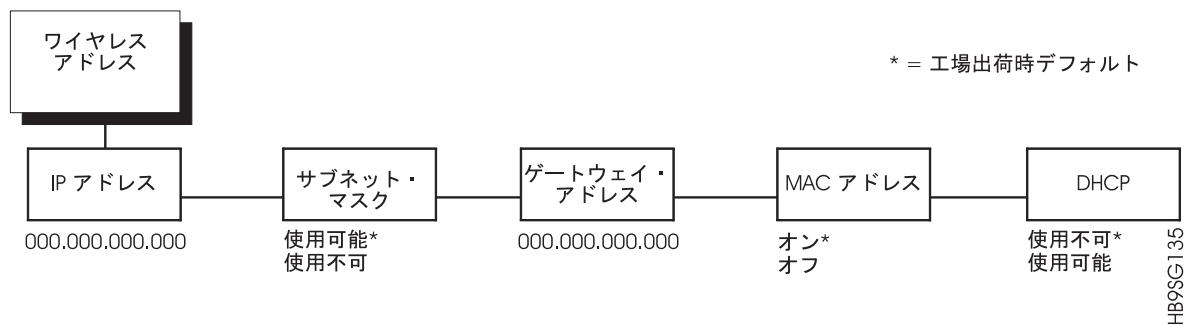
この機能は、接続されたホストがタイムアウトにならないようにします。この機能をサポートするために、ポートはホストからデータを受け入れ、それを将来の使用に備えて保管しておくことができなければなりません。選択された値は、プリンターがホストから次のバイトのデータを手に入れる前に待つ時間です。値はホストのタイムアウト値より小さく設定します。値が短過ぎる場合、プリンターのバッファは速くいっぱいになり過ぎます。この機能は C/T ホットポートには適用されません。

- **1/4 Sec** (デフォルト)
- **1/2 Sec**
- **1 Sec**
- **2 Sec**
- **4 Sec**
- **8 Sec**
- **16 Sec**
- **OFF**

- **Timeout**。これは、プリンターが現行のポートからタイムアウトになったり、印刷するデータがないか他のポートを検査するのに使用する値です。プリンターが、特定の時間が過ぎてもホストからデータを受け取らなかったとき、他のポートをサービスするにはタイムアウトになる必要があります。

- 10 Sec (デフォルト)
- 10 Sec ~ 60 Sec
- **Report Status**。このオプションが使用可能にされているとき、障害が現行の活動ポート上にない場合であっても、障害が報告されます。このオプションが使用不可にされると、印刷上の障害は、それがアクティブ・ポート上で発生した場合のみ報告されます。
 - **Disable** (デフォルト)
 - **Enable**

ワイヤレス・アドレス・メニュー



IP アドレス

123.45.61.23 などの数値アドレスで LAN または WAN にあるプリンターやサーバーを識別します。

サブネット・マスク

IP ネットワークを小さなサブネットワークやサブネットに分割するときに使用するバイナリー値です。IP パケットをほかのサブネットに転送する必要があるかどうかを判断するときはこのマスクを使用します。

ゲートウェイ・アドレス

ゲートウェイ・アドレスは、ハードウェア装置 (ゲートウェイ) の IP アドレスです。互換性のある 2 つのネットワークのあいだで、プロトコルの変換など、データを変換します。

MAC アドレス

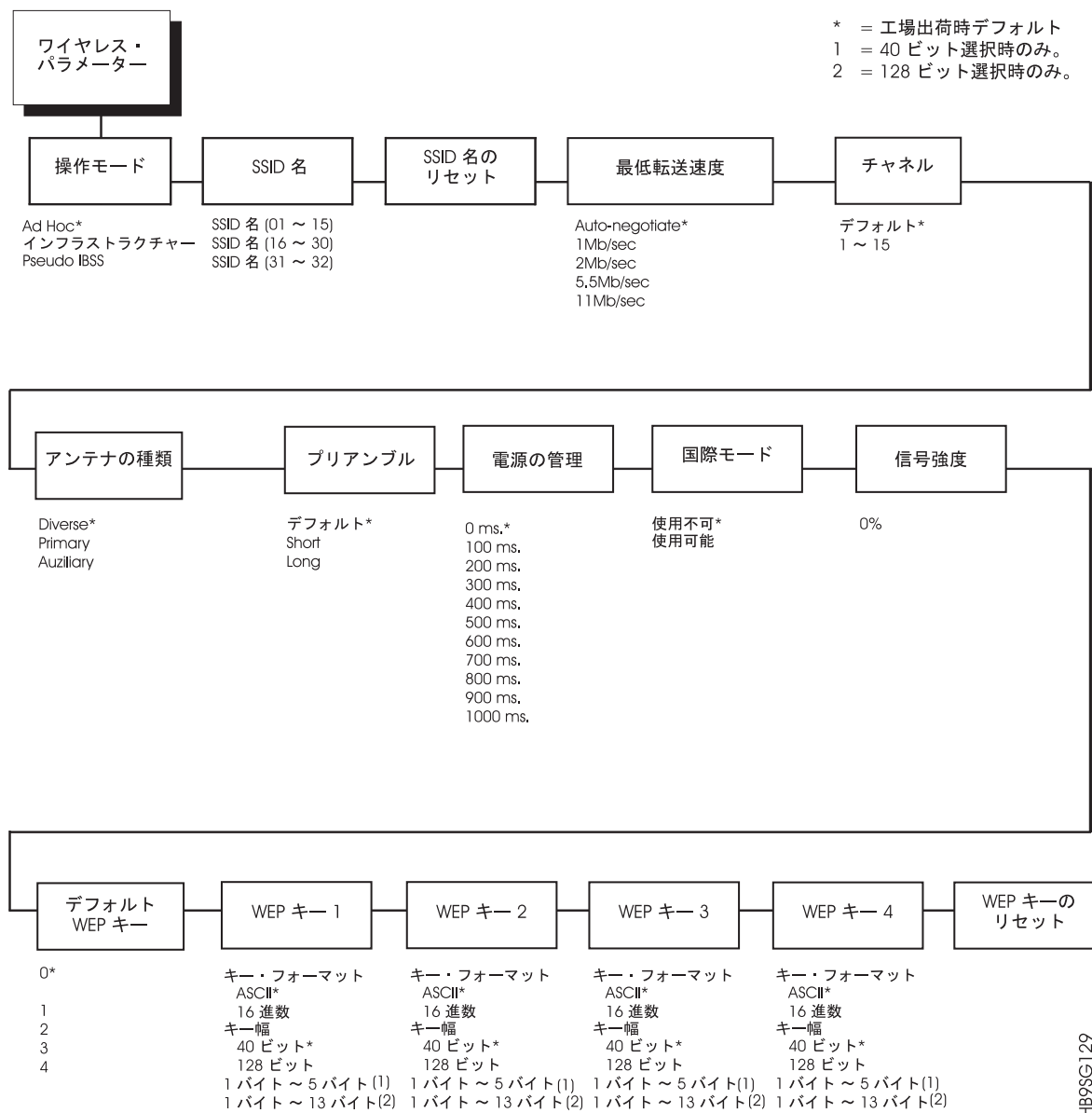
このメニュー項目は、メーカーの割り当て番号でプリンターごとに固有の数値があります。読み取り専用のメニューです。

DHCP

このオプションを使用して DHCP プロトコルを使用可能または使用不可にできますが、設定については管理者にお問い合わせください。オプションには次のものがあります。

- Disable (デフォルト)
- Enable。

ワイヤレス・パラメーター・メニュー



操作モード

ワイヤレス・オプションの通信方法を選択できます。

- Infrastructure (デフォルト)。サーバーを介したワイヤレス・オプションとなります。

- Ad Hoc。標準的な対等通信 (サーバーなし)。2 つのピアには、異なるメーカーのものを使用できます。

- Pseudo IBSS。専用の対等通信 (サーバーあり)。2 つのピアは、同一のメーカーのものに限られます。

ワイヤレス・パラメーター・メニュー

SSID Name

1 ~ 32 文字の大文字小文字を区別するストリングで、プリンターの対話対象となるグループを示します。

Reset SSID Name

SSID 名をリセットできます。

最低転送速度

ワイヤレス・オプションで接続を許可する最低速度 (100 万ビット/秒) を設定できます。オプションには次のものがあります。

- **Auto-negotiate** (デフォルト)
- **1Mb/sec**
- **2Mb/sec**
- **5.5Mb/sec**
- **11Mb/sec**

チャンネル

RF チャンネルを選択できます。オプションは「デフォルト (工場デフォルト)」、および 1 ~ 15 です。

アンテナの種類

使用するアンテナの種類。

- **Diverse** (デフォルト)。最適な受信状態のアンテナを使用するときに選択します。
- **Primary**。サーバー上のプライマリー・アンテナを使用するときに選択します。
- **Auxiliary**。サーバー上の補助アンテナを使用するときに選択します。

プリアンブル

伝送パケットのプリアンブル長さ。

- **Default**。ワイヤレス・オプションが自動的に長さを決定します。
- **Short**。高速の転送定格速度を処理できる新しいプリンターに使用します。
- **Long**。高速の転送定格速度を処理できない古いプリンターに使用します。

電源の管理

省電力モードとスリープ時間を設定できます。スリープ時間を指定する値はミリ秒単位で提供されます。ゼロに設定すると、省電力モードは使用不可になります。次の範囲を使用できます。

- **0 ms.** (デフォルト)
- **100 ms ~ 1000 ms**

国際モード

使用可能にすると、ヨーロッパの国際周波数規格に従ったワイヤレス・オプションを適用できます。オプションには次のものがあります。

- **Disable** (デフォルト)
- **Enable.**

信号強度

このメニューは、ワイヤレス信号の強度を表示します。
注: この値は表示のみで、変更することはできません。

デフォルト WEP キー

このフィーチャーを使用すると、セキュリティを目的に情報を暗号化 (スクランブル) できます。このフィーチャーでは、ASCII または 16 進数の形式で 40 ビットまたは 128 ビットによる 4 つの暗号キーをセットアップできます。(ビット数が大きいほど、情報のデコードが困難になります。)

注: WEP キー構成メニューは、いずれも構成印刷出力には表示されません。

WEP Key Format

WEP キーを ASCII または 16 進数のコードでフォーマットします。デフォルトは ASCII です。

WEP キー幅

暗号強度を示します。40 ビットと 128 ビットのオプションがあります。強度は 40 ビットが弱く、128 ビットは強くなります。

注: 40 ビットを選択すると、「WEP key BYTE6」～「WEP Key BYTE13」のメニューは表示されません。

デフォルトは 40 ビットです。

WEP Key BYTE1 ~ BYTE 13. バイトの値は、暗号化に 40 ビットを選択するか 128 ビットを選択するかにより異なります。40 ビット: Byte1: ~ Byte5:。128 ビット: Byte1: ~ Byte13:。

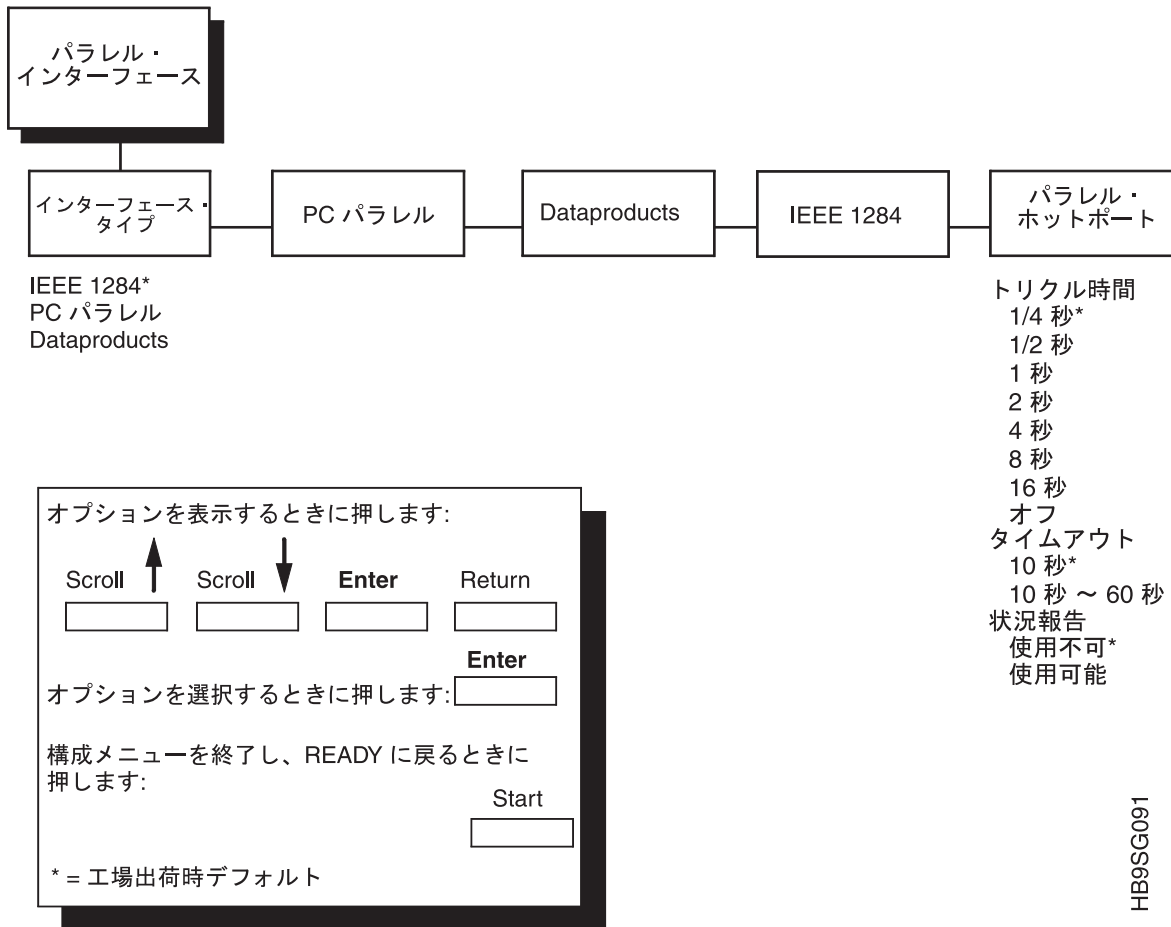
それぞれの文字を組み合わせると暗号キーとなります。

WEP キーのリセット

一度に 4 つのすべての WEP キーをリセットします (WEP Key 1 ~ WEP Key 4)。

パラレル・インターフェース・メニュー

プリンター・インターフェースについて詳しくは、第 5 章を参照してください。



インターフェース・タイプ

INTERFACE TYPE パラメーターは、次のどの電気インターフェースがパラレル・ポート・インターフェースを駆動するかを選択します。

- IEEE 1284 (デフォルト)
- PC PARALLEL
- DATAPRODUCTS

PC パラレル

134 ページを参照してください。

Dataproducts

137 ページを参照してください。

IEEE 1284

204 ページを参照してください。

パラレル・ホットポート

プリンターに、複数のデータ・ストリームを同時に扱う能力を与えます。これにより、プリンターはシリアル、パラレル、および同軸または平衡型のいずれかのポートに、それらが接続されている唯一のインターフェースであるかのようにサービスすることができます。

トリクル時間

この機能は、接続されたホストがタイムアウトにならないようにします。この機能をサポートするために、ポートはホストからデータを受け入れ、それを将来の使用に備えて保管しておくことができなければなりません。選択された値は、プリンターがホストから次のバイトのデータを入手する前に待つ時間です。値はホストのタイムアウト値より小さく設定します。値が短過ぎる場合、プリンターのバッファは速くいっぱいになり過ぎます。この機能は C/T ホットポートには適用されません。

タイムアウト

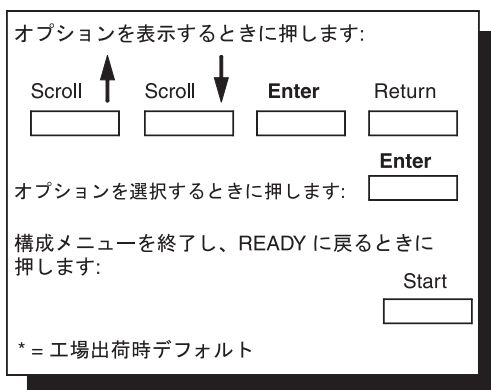
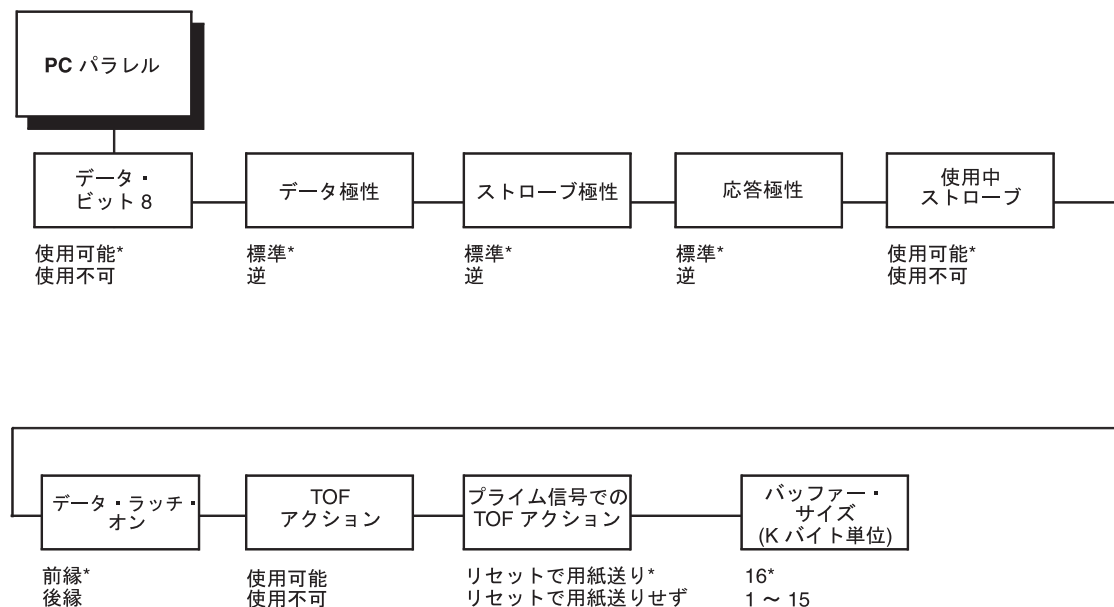
これは、プリンターが現行のポートからタイムアウトになったり、印刷するデータがないか他のポートを検査するのに使用する値です。プリンターが、特定の時間が過ぎてもホストからデータを受け取らなかったとき、他のポートをサービスするにはタイムアウトになる必要があります。

状況報告

このオプションが使用可能にされているとき、障害が現行の活動ポート上にない場合であっても、障害が報告されます。このオプションが使用不可にされると、印刷上の障害は、それがアクティブ・ポート上で発生した場合のみ報告されます。

PC パラレル・メニュー

PC PARALLEL メニューは、PC パラレル・プリンターとして作動するように電気信号を構成します。



HB9SG092

データ・ビット 8

DATA BIT 8 パラメーターにより、拡張 ASCII 文字セットにアクセスすることができます。このパラメーターは、デフォルトで使用可能にされます。このパラメーターが使用不可にされる場合は、プリンターは着信データ文字のビット 8 を、その実際の設定に関係なくゼロとして解釈します。

拡張 ASCII 文字セットは、「6400 ASCII Programmer's Reference Manual」に示されています。

データ極性

DATA POLARITY パラメーターは、ホスト・コンピューターのデータ極性と一致するように設定する必要があります。

- STANDARD (デフォルト) では、ホスト・コンピューターがデータを反転することを予期していません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターがデータ回線で受け取られたデータを反転することを予期しています。1 はゼロになり、ゼロは 1 になります。

ストロブ極性

STROBE POLARITY は、ホスト・コンピューターのデータ・ストロブ極性と一致するように設定する必要があります。ホスト・コンピューターがプリンターにデータ・ストロブ信号を送るとき、これはプリンターがデータ・バスを読み取ることができるようにします。

- STANDARD (デフォルト) では、データ・ストロブ信号が反転されることを予期していません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターがデータ・ストロブ信号を反転することを予期しています。

応答極性

RESPONSE POLARITY パラメーターは、ホスト・コンピューターの応答極性と一致するよう設定する必要があります。

- STANDARD (デフォルト) では、応答信号を反転しません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターに送られる応答信号を反転します。

使用中ストロブ

BUSY ON STROBE はいつ使用中信号が表示されるかを決定します。

- ENABLE (デフォルト) では、各文字が受け取るたびに使用中信号を表示します。
- DISABLE では、印刷バッファがいっぱいになるときのみ使用中信号を表示します。

データ・ラッチ・オン

LATCH DATA ON パラメーターは、データがデータ・ストロブ信号の前縁または後縁のどちらで読み取られるのかを指定します。

- LEADING EDGE (デフォルト)
- TRAILING EDGE

プライム信号

- ENABLE (デフォルト)。これが設定され、ホストが PRIME SIGNAL を表示するとき、パラレル・ポートはウォーム・スタートを実行します。
- DISABLE。ホストが PRIME SIGNAL を表示するとき、パラレル・ポートはウォーム・スタートを実行しません。

プライム信号での TOF アクション

TOF (用紙の上端) ACTION AT PRIME SIGNAL は、ホストからプライム信号が表示されたときにウォーム・スタートの前に用紙送りが実行されるかどうかを決定します。この設定は、PRIME SIGNAL パラメーターが使用可能にされる場合のみ使用されます。

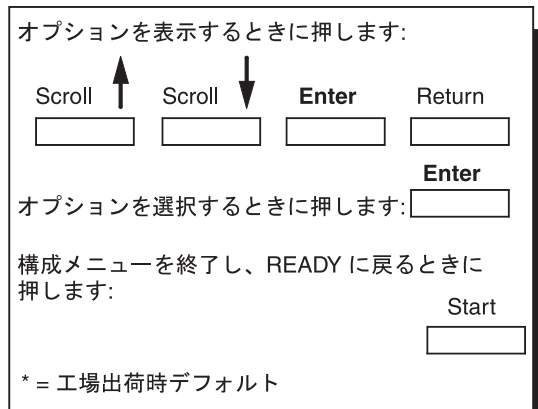
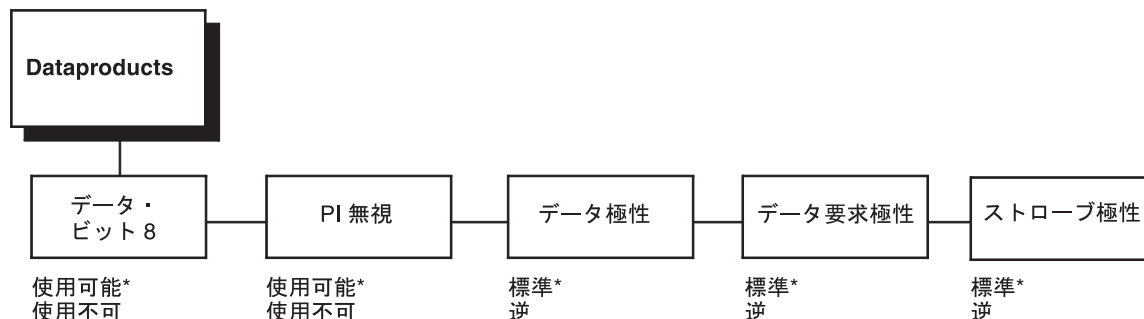
- FORM FEED AT RESET (デフォルト)
- NO FORM FEED AT RESET

バッファ・サイズ (K バイト)

このパラメーターは、入力バッファのサイズを 1K の増分で決定します。最大 16K まで使用可能です。16K がデフォルトです。

Dataproducts メニュー

Dataproducts パラレル・インターフェースは、次の構成オプションを使用して構成されます。



HB9SG093

データ・ビット 8

DATA BIT 8 パラメーターにより、拡張 ASCII 文字セットにアクセスすることができます。このパラメーターは、デフォルトで使用可能にされます。このパラメーターが使用不可にされるときは、プリンターは着信データ文字のビット 8 を、その実際の設定に関係なくゼロとして解釈します。

PI 無視

PI (用紙指示) 信号は、縦方向の用紙の動きを制御するために使用されます。

- ENABLE (デフォルト) は、PI 信号を無視し、データを文字または制御コードとして扱います。
- DISABLE は、PI 信号が真であるときは、プリンターに 8 つのデータ行を VFU コマンドとして解釈させます。

データ極性

DATA POLARITY パラメーターは、ホスト・コンピューターのデータ極性と一致するように設定する必要があります。

- STANDARD (デフォルト) では、ホスト・コンピューターがデータを反転することを予期していません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターがデータ回線で受け取られたデータを反転することを予期しています。1 はゼロになり、ゼロは 1 になります。

データ要求極性

DATA REQUEST POLARITY パラメーターは、ホスト・コンピューターのデータ要求極性と一致するように設定する必要があります。

- STANDARD (デフォルト) では、要求信号が反転されません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターに送られる要求信号を反転します。

ストロブ極性

STROBE POLARITY は、ホスト・コンピューターのデータ・ストロブ極性と一致するように設定する必要があります。ホスト・コンピューターがプリンターにデータ・ストロブ信号を送るとき、これはプリンターがデータ・バスを読み取ることができるようにします。

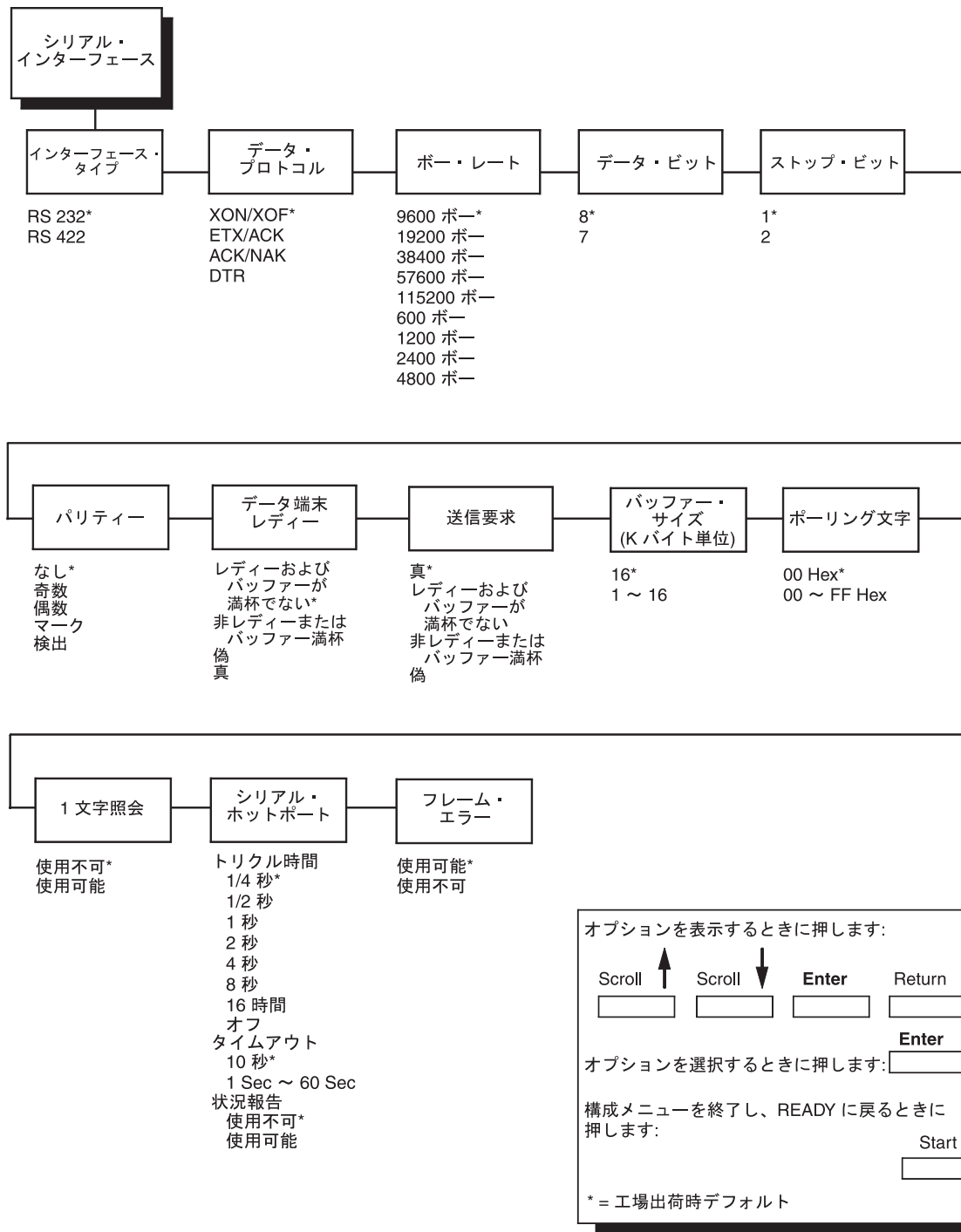
- STANDARD (デフォルト) では、データ・ストロブ信号が反転されることを予期していません。
- INVERTED では、ホスト・コンピューターがデータ・ストロブ信号を反転することを予期しています。

IEEE 1284

IEEE 1284 インターフェースには、オペレーター・パネルを介して調整可能なパラメーターはありません。詳しくは、197 ページの『第 5 章 プリンター・インターフェース』を参照してください。

シリアル・インターフェース・メニュー

重要: プリンター内のシリアル・パラメーターは、ホスト・コンピューター (プリンター・データ・ケーブルのもう一方の端にある) 内のシリアル・インターフェースに一致するよう設定する必要があります。そうでないと、プリンターは正しく作動しない場合があり、コンピューターからのデータ文字が印刷されなかったり、「文字化け」する場合があります。



HB9SG094

インターフェース・タイプ

このパラメーターは、次のようなシリアル・ポートのために電気的インターフェースを構成します。

- RS-232 (デフォルト)
- RS-422

データ・プロトコル

ホスト・インターフェース要件に合わせて、次のシリアル・インターフェース・プロトコルのいずれかを選択することができます。

- XON/XOFF (デフォルト) — 送信オン/送信オフ。プリンターは、ホストに対して送信をオンおよびオフにするよう指示することにより、ホストからの通信の流れを制御します。これは工場出荷デフォルト値のシリアル・プロトコルです。
- ETX/ACK — テキスト終結/確認。ホストは、データ・ブロックを送り、そのブロックをテキスト終結 (ETX) 信号で終了させることによって、プリンターへの通信の流れを制御します。プリンターが ETX 信号を受け取ると、データ・ブロック全体を受け取ったことを確認します。
- ACK/NAK — 確認/否定確認。ACK は確認を意味します。装置は送信を受け入れたことを確認します。NAK は否定確認を意味します。つまり、装置は送信を受信しませんでした。
- DTR — (DTE レディー)。プリンターは、ホストに対してこのハードウェア信号を表示または表示解除することによりデータ・フローを制御します。プリンターのバッファ内に十分なスペースがある場合には、プリンターはハイ信号を送ります。バッファがいっぱいの場合には、プリンターはロー信号を送ります。DTR は、ホストに対し、さらにデータを送っても安全かどうかを伝えます。(安全でない状態でホストがデータを送った場合には、データが失われます。)

ボー・レート

このパラメーターは、プリンター内のシリアル・インターフェースのボー・レートを設定します。ボー・レートは、ホスト・コンピューターとプリンターの間でシリアル・データが転送される速度です。

- 600 BAUD
- 1200 BAUD
- 2400 BAUD
- 4800 BAUD
- 9600 BAUD (デフォルト)
- 19200 BAUD
- 38400 BAUD
- 57600 BAUD
- 115200 BAUD

データ・ビット

DATA BITS パラメーターは、シリアル・データ・ワードの長さを設定します。データ・ワードの長さは、ホスト・コンピューター内の対応するデータ・ビットの設定に一致している必要があります。

- 8 ビット (デフォルト)
- 7 ビット

ストップ・ビット

STOP BITS パラメーターは、シリアル・データ・ワード内のストップ・ビットの数を設定します。この設定は、ホスト・コンピューター内の対応するストップ・ビットの設定に一致する必要があります。1 つ (デフォルト) または 2 つのストップ・ビットを選択することができます。

パリティ

PARITY パラメーターは、次のように設定することができます。

- NONE (デフォルト)
- ODD
- EVEN
- MARK
- SENSE

この設定は、ホスト・コンピューター内の対応するパリティ設定に一致する必要があります。

データ端末レディー

この構成は、ハードウェア・フロー制御の一部で、DATA TERMINAL READY (DTR) 信号が生成される時期を決定します。この信号は、プリンターがデータを受け取る準備ができていかどうかを示します。

- READY AND BUFFER NOT FULL (デフォルト) は、プリンターが READY で、内部シリアル・バッファがいっぱいでないときに DTR 信号を表示します。
- NOT READY OR BUFFER FULL は、プリンターが NOT READY であるか、内部シリアル・バッファがいっぱいであるときに DTR 信号を表示します。
- FALSE は DTR 信号を決して表示しません。
- TRUE は DTR 信号を継続的に表示します。

注: プリンターが AS/400 に接続されている場合は、DTR は TRUE に設定する必要があります。

送信要求

この構成はハードウェア・フロー制御の一部で、REQUEST TO SEND (RTS) 信号が生成される時期を決定します。この信号は、プリンターがデータを受け取る準備ができていかどうかを示します。

- READY AND BUFFER NOT FULL は、プリンターが READY であり、内部シリアル・バッファがいっぱいでないときに RTS 信号を表示します。
- NOT READY OR BUFFER FULL は、プリンターが NOT READY であり、内部シリアル・バッファがいっぱいであるときに RTS 信号を表示します。
- FALSE は RTS 信号を決して表示しません。
- TRUE (デフォルト) は RTS 信号を継続的に表示します。

注: Xon/Xoff は常にオンです。詳しくは、140 ページを参照してください。

バッファ・サイズ (K バイト)

このパラメータは、入力バッファのサイズを 1K の増分で決定します。最大 16K まで使用可能です。16K がデフォルトです。

ポーリング文字

このオプションは、1 文字照会が使用可能にされ、IGP 機能が使用可能であるときに使用されます。プリンターがこの文字を受け取る時には必ず、ホストに対して、プリンターの現行状態を示す応答を送ります。これは、00 ~ FF Hex に構成することができます。デフォルト値は 00 です。

1 文字照会

使用可能にされ、IGP 機能が使用可能な場合、ポーリング文字またはコマンド SFCC 照会がプリンターに送られるときに、状況バイトがホストに送り返されます (シリアル・インターフェースのみ)。ポーリング文字が受信され、プリンターがオンラインであれば、オフラインであれば、状況バイトが送られます。SFCC 照会は、プリンターがオンラインであるときのみ処理されます。

ホストに送られた状況バイトは、次のように定義されます。

ビット	使用
7.6	0
5	1
4	0
3	1 = プリンター障害
2	1 = IGP 使用中
1	0 = オフライン、1 = オンライン
0	1 = シリアル入力バッファ xoff/on

シリアル・ホットポート

プリンターに、複数のデータ・ストリームを同時に扱う能力を与えます。これにより、プリンターはシリアル、パラレル、および同軸または平衡型のいずれかのポートに、それらが接続されている唯一のインターフェースであるかのようにサービスすることができます。

- **トリクル時間**。この機能は、接続されたホストがタイムアウトにならないようにします。この機能をサポートするために、ポートはホストからデータを受け入れ、それを将来の使用に備えて保管しておくことができなければなりません。選

扱された値は、プリンターがホストから次のバイトのデータを入手する前に待つ時間です。値はホストのタイムアウト値より小さく設定します。値が短過ぎる場合、プリンターのバッファは速くいっぱいになり過ぎます。この機能は C/T ホットポートには適用されません。

- **タイムアウト**。これは、プリンターが現行のポートからタイムアウトになったり、印刷するデータがないか他のポートを検査するのに使用する値です。プリンターが、特定の時間が過ぎてもホストからデータを受け取らなかったとき、他のポートをサービスするにはタイムアウトになる必要があります。
- **状況報告**。このオプションが使用可能にされているとき、障害が現行の活動ポート上にない場合であっても、障害が報告されます。このオプションが使用不可にされると、印刷上の障害は、それがアクティブ・ポート上で発生した場合のみ報告されます。

フレーム・エラー

プリンターのシリアル・インターフェース設定値がホスト・コンピューターのシリアル・インターフェース設定値と一致しないときに起こる可能性のあるエラーです。

- **Enable**。フレーム・エラーが発生すると、制御パネルに障害メッセージが表示されます。
- **Disable**。フレーム・エラーが発生しても、制御パネルに障害メッセージは表示されません。

工場出荷デフォルト値は「ENABLE」に設定されています。